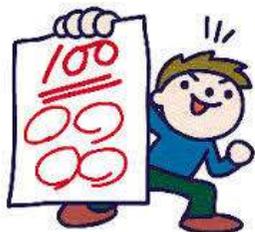


～最終章～

Go for it !!

豊中市立第五中学校
第62期 第3学年
学年通信第34号
2016年1月22日



第4回実力考查講評

最後の実力考查が終了しました。皆さん手応えのほどはどうか。冬休みの頑張りが発揮されたでしょうか。各教科からの講評をしっかりと読んで、3週間後に迫ってきた私立入試本番に備えてください。また、週明けから“中学最後の定期考查”学年末考查が始まります。テスト続きで大変な時期ですが、体調管理に十分気をつけて、納得の結果で締めくくれるよう頑張りましょう。



第一回目の実力テストと比べて、自分はどのくらい出来る問題が増えたでしょうか。「国語は勉強の仕方がわからない。」と言う人がいますが、ある程度練習を繰り返す中で、応用がきく問題もたくさんあります。

たとえば、「古文の問題」。歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す方法を様々な単語で復習する。過去問を何度も解き直して、省略されている主語を探す練習を重ねる。記述式の場合は、「誰が・何を・どうした」という文の成分をわかりやすく、全て書いているかを心がけましょう。

「漢字の問題」。小学校までの漢字の読み書きを「漢字の完全マスターを使って総復習する。同音異義語を便覧で確認し、読めるようにする。

「長文読解の問題」。「つなぎ言葉」（接続詞など）をまとめて文法書で復習しておく。説明的文章から中心文を探すことが出来るように何度も同じ問題を読み返す。

あとは、解答用紙を見て、それを採点する人のことを思って、優しい気持ちで丁寧に字を書く。そういった思いやりが問題を解くときに必要だと思います。社会人としてのルールとマナーをもう一度思い出し、丁寧に解答してみましょう。



中学校における最後の実力テスト、お疲れ様でした。結果を見ると数学では予想平均点より5点ほど低かったこともあり、「思ったより点数が悪く、このままで大丈夫だろうか？」と不安になった人もいるのではないのでしょうか。実力テストなので簡単に点数をとることはできないのは当然です。これからは受験までの残された時間に何をすることが大切になります。間違えた問題を見直して自分の課題をもう一度確認しましょう。

まず①・②の計算問題ですが、これは絶対にできてほしいところです。①(2)・②(2)(3)の正答率の低さが特に気になりました。③～⑥は一問一答形式になっていました。この形式は基礎的内容が使いこなせて解答ができる問題です。冬休みの宿題で出したドリルや普段から使っている問題集など、もう一度、目を通すことで復習をしっかりとやっておきましょう。⑦と⑪(3)は難しかったかもしれませんが、入試問題ではこの難易度で標準になります。まったく歯が立たないことはないはずなので見直しをしておいてください。⑬は問題文がしっかり読めれば解けたと思います。

まだまだやれることがあるはずですよ。最後までしっかり踏ん張り、62期全員が納得のいく結果を得られるようにみんなで頑張ってください。



最後の実力テストお疲れ様でした。全体的に、問題文をしっかり読み、粘り強く解答しようとする姿勢が見られました。「できた！」という人は、さまざまな分野が出題されることを忘れずに、苦手な分野の学習にも力を入れましょう。「いまいちだった…」という人も、必ず復習をし、今回出題されなかった分野についても学習を怠らないようにしていきましょう。

①～④の問題については、比較的よく解答出来ていました。漢字のミスや言葉の使い方などで気になるところがありました。詳細解説のプリントに書いた便覧のページを参考に、確認をお願いします。⑤、⑦にはグラフの問題がありました。表にあるデータ分の点は必ず取ること、直線、曲線の区別をつけることを忘れずに。授業の中でも話をしましたが、まずは比較的簡単な各問題の(1)を確実にとけるようにしましょう。その上で、難しい問題にも取り組むようにしましょう。できることから積み上げていくことがとても大切です。

まだ時間はあります。限られた時間を大切に、最後までクラス、学年全員で声をかけ合って取り組んでいきましょう。頑張れ、62期！！



私立高校の入試まで1ヶ月をきりました。冬休みの学習の成果をしっかりと出せましたか？ 出題内容は、入試を想定した基本的な内容や資料を通じて考え、判断するなど多様なものだったのですが、どうでしたか？ 残念ながら、という人の多くは、例えば〔時差〕の問題に手こずっている人なのではありませんか？

今一度副教材などで復習をし直しましょう。地理は、冬休みの課題があったにもかかわらず、他の単元でも点数に結びついていない状況が続いています。過去4回分の実力テストや副教材を必ずやり直しましょう。歴史は比較的出来ている箇所は多かったのですが、幕末～明治以降の近代史（日本国憲法成立まで）は詳しいところが出題されることがあるので要注意です。一方、現在進行中の公民分野（2学期末考査までの範囲）の見直しも不足しており、ごく最近学習した、という要素もプラスには働いていませんでした。これから入試に向けての対策としては、先ほど述べた内容を繰り返しやることと、私立の場合はその出題傾向・特徴を細かくチェックしそれに見合った問題演習をしておくことです。入試とは、単に突破すること

を目指すターゲットだけでなく、その後高校で通用する基礎学力を固めるためのものでもあります。最後まであきらめことなくやりぬきましょう。



最後の実力考査、皆さんいかがでしたか。今回の考査内容は難易度も同様、いつも通りの内容・レベルで作成しました。1・2学期に実施した定期考査・実力考査で出題された問題と同じような問題もいくつかありました。気づいてもらえたでしょうか。「その都度の復習がいかに大事か」が問われる実力考査となりました。自分の答案用紙をしっかりと見直して、本番の入試に少し

でも生かせるよう準備してください。同じ問題が出題されるかもしれませんよ。

テストを復習する際にポイントとなることを3点再度お伝えしておきます。

- ① 基本単語・基本熟語の覚えなおし
- ② 自由英作文（今回であれば「道案内」）の強化
- ③ 長文読解のトレーニング継続（一日一題を日課に）

①については、大問4・5・6・8を見直しましょう。別紙の解説プリントに全問題文の日本語訳を載せています。「どの単語・熟語が覚えられていないのか」を今すぐ復習して、今すぐ完全に覚えてください。今回出題された問題は入試でもよく出される問題です。

②については、まず冬休み課題であった100個の英文の復習をしっかりとやりましょう。全くサボってしまった人は、今からでも間に合います。絶対にやってください。100個完璧に覚えた！という人ももう一度復習してください。入試本番で忘れてしまっていては意味がありませんので。この100個の英文は、自由英作文にも活用できる英文が多く含まれています。これからの授業内でも自由英作文の強化に努めていきます。例文を参考にしながら30語以上の英文を書けるよう頑張ろう。

③については、前回の実力考査の時にもお伝えしたことですが、ちゃんと家庭学習で実践しているでしょうか。入試対策の長文読解問題をこれまで何題解きましたか。最低限、自分が受験する高校の過去問題はやってみておいてください。さあ、入試本番まであと3週間余り。体調管理に気をつけてラストスパート頑張ってください。